

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。8月15日の正午に、開倫ユネスコ協会主催の「平和の鐘を鳴らそう」運動が行われました。本当にご協力ありがとうございました。私は、開倫ユネスコ協会の会長をさせて頂いております。「心の中に平和の砦を」、つまり一人ひとりの人間の力をつけるという人間安全保障(ヒューマンセキュリティー)の推進を基本理念に活動をしています。

皆さんに1つお願いがあります。先日、宇都宮市のあるレストランで食事をしていた私の友人が、驚くべき光景を見たそうです。隣の席にいた2人の若い女性とその母親が、20分おきくらいに外に出ていく。おかしいと思っていたら、彼女たちは炎天下の車の中に置いてきた子供の様子を見に行っていたというのです。小さな子供は絶対に車の中に置き去りにしてはいけません。お店の方も知っていたようですから、このようなときは子供の場所を確保してもらおう。それができない時は、食事はしない。毎年車中での子供の死亡事故が何件も起きています。繰り返さないようにくれぐれもお願いいたします。

さて、教育には3つあります。家庭教育、学校教育、社会教育です。おのおのの所で気が付いた人が、自分の持ち分で子供達を教育することが大切だと思います。お店の人は、お客様との人間関係を崩したくないとの思いで注意をしないのだと思います。また、お祖母ちゃんは、娘との人間関係を壊したくないとの思いから若いお母さんに注意をしない。若いお母さんは、お祖母ちゃんとの人間関係を崩したくないから子供を連れてこないのかもしれないかもしれません。皆がお互いに遠慮し合っているのでしょうか。しかし、最終的にはこの無責任が幼い命を奪うということになりますから、皆で注意し合っていきたいと思います。私も気が付いた時は注意させて頂きますので、その時はご容赦頂きたいと思います。気がついた時は注意をして、自分の義務を果たすことは大切だと思います。

これに関連して、躰(しつけ)についてお話しします。躰とは、美しい立ち居振る舞いと敬語表現を含む言葉遣いのことです。この躰をするのは、家庭です。物事の善・悪の基準を教えるのも家庭の役割です。躰が悪いのは家庭の責任です。ご家族の方は、総力をあげて躰をして頂きたいと思います。

それを補うのが、学校教育です。ただし、学校内で行われたことは、学校の責任です。先生が生徒との人間関係を大事にするあまり、嫌われたくないとの思いから必要なことも教えないのでは、先生の責任を果たしているとは言えません。

社会の中で、家庭教育や学校教育で足りない事を教えるのが社会教育です。先程のレストランの方は、消費者教育ができていないのです。自分の店内、敷地内で起こったことはすべて、その店の経営者の責任であると考えべきです。ですから、経営者の立場で注意をすることが必要です。また、自分の周りで起こったことは自分の責任であるという自覚を持たせることはよい教育だと思います。今、オリンピックが開催されていますが、スポーツを通して色々なことを学ぶことができると思います。フェアプレーの精神や、練習はすればするほど不可能を可能にすることができることなど、スポーツの素晴らしさについて考えてほしいと思います。これもよい勉強になると思います。